



令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 京都府立網野高等学校 】

1 実践テーマ	【 III 】
2 実施対象者	ボッチャ体験 全校生徒 体操指導等 体操部全部員（1年生7名 2年生3名 3年生9名）
3 展開の形式	本校全生徒がボッチャを体験する。 体操部が地域の小学校に出向き、体操教室・運動補助・演技披露を行う。
4 目標 (ねらい)	(1) スポーツ交流を通して異世代者への理解を深め、共生社会の形成を目指す。 (2) 高校卒業後、ほとんどの生徒が地元を離れて進学をする状況の中で、地域社会の現状を考える機会を掴るとともに、将来的に丹後地域の維持・発展に貢献できる人材を育成する。 (3) 全国平均よりも高齢化が進み、長寿者が多い丹後地域に活力を与え、スポーツ文化の広がりに寄与する人材を育てる。
5 取組内容	(1) ボッチャ体験 ア 第1学年、第3学年は、学年単位でボッチャ大会を開催、第2学年はクラスでボッチャ大会を実施予定。 第1学年ボッチャ大会の様子  第3学年ボッチャ大会の様子 

(3) 体操部の取組

体操体験、体操教室及び演技会

11月6日(土)実施予定であったが感染予防の観点から、運動指導や体験会は実施を見送った。

発表の様子



昨年度の運動指導風景



6 主な成果

感染予防対策として密を避け、発声を最小限で実施した。また、ボッチャ体験では生徒主体で審判を行うことで、ルール理解や生徒同士のコミュニケーションが増えた。振り返りや感想には前向きな意見が多く、ねらいである誰もが互いに人格と個性を尊重し、支えあって共生する社会の実現に主体的に取り組もうとする意識や態度、意欲を養うことができた。

7 実践において工夫した点(事業の特色)

実施に向けて感染予防対策を徹底しながらどのように運動、スポーツの価値を伝えることができるか内容を話し合う場を設けた。また、学年行事でボッチャ体験を組込み、アダプテッドスポーツに対する理解を深める場を設けた。

体操部の取組は様々な世代が一堂に会する場であり、感染症予防の観点から高校生の体操教室体験を見送った。演技発表は実施した。

8 主な課題等	<p>動画制作やオンライン配信等を活用するなど、発信方法の工夫で実施できる内容を準備しておく必要があった。</p> <p>今後の社会状況の中でも高齢者に参加していただけるように、様々な施設をオンラインでつなぎながら、高校生によるリモート運動教室等を実施する方法を考えていきたい。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>負担のない形での継続的な実施を目指したい。</p>